

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価												予算					
■ 施策(13) 児童虐待への対応													担当課				
柱番号	事業番号	事業名	【Plan】計画			【Do】実施				【Check】評価		【Action】改善		予算			
			前年度の評価を踏まえての改善	28年度の事業計画	28年度の主な実績	活動指標 区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由 (分析)	次年度以降の課題や改善内容		予算事務事業名	決算額・次年度予算額 [千円]	備考	
1	262	児童虐待の早期発見・迅速かつ適切な対応および児童への支援のための連携強化	児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応および適切な支援を行うために、要保護児童対策地域協議会などを通して、関係機関との連携強化を図るとともに、関係職員等に対する研修会の実施や市民啓発などに努める。 ○要保護児童対策地域協議会、要保護児童対策実務者会議等、関係機関の連携強化による虐待への対応、支援体制の充実 ○要保護児童対策実務者会議主催の研修等による関係機関の連携と虐待対応の質の向上 ○子ども総合センターと各区子ども・家庭相談コーナーの連携強化による虐待の通告・相談から支援までの体制の充実 ○虐待リスクの高い居所不明児童の早期発見・迅速かつ適正な対応の向上を図るため、関係機関との連携を強化 ○関係機関等が児童虐待に係る早期発見や迅速かつ適切な対応を行えるよう「児童虐待対応リーダー養成研修」を継続的に実施 ○法律研修の実施や、法的判断が必要となる虐待事案に関する法律相談など弁護士会と連携した取り組みの実施 ○児童の実態が把握できない場合や虐待が疑われる場合は、速やかな児童の安全確認・安全確保のため、保護者への出頭要求や捜索、全国の児童相談所間の情報共有、警察への捜索願の提出等を実施	・関係機関と緊密に連携を図り、発生予防・早期発見に努め、迅速かつ適切に対応する。	①児童虐待の早期発見・早期対応に努める ②児童虐待相談対応の強化を図る ③小・中学校、幼稚園などを対象とした、「児童虐待対応リーダー」を養成する研修を実施する。 ④「児童虐待問題連続講座」を開催する。		①児童虐待通告件数 1,116件 ②児童虐待相談対応件数 918件 ③児童虐待対応リーダー養成研修開催回数 2回 参加者数 233人 ④児童虐待問題連続講座 開催回数 2回 参加者数 301人	児童虐待問題連続講座開催回数(回) 【現状値】 2回 (H26年度) 【目標】 順調	単年度	現状値と同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	評価	評価の理由 (分析)	次年度以降の課題や改善内容	児童虐待防止(子どもの人権擁護)推進事業	決算 15,486
1	263	児童虐待防止医療ネットワーク事業	小児患者に対応する拠点病院に児童虐待専門コーディネーターを配置し、地域の医療機関からの児童虐待に関する相談への助言、研修等、児童虐待対応力の向上を図る。	・児童虐待対応マニュアルづくりを進め、保健医療従事者への研修等を実施する。	①保健従事者への研修の実施 ②児童虐待対応マニュアルの作成	教育研修の参加者数 【現状値】 80人 (H26年度) 【目標】 順調	単年度	前年度比増	前年度比増	前年度比増	評価	評価の理由 (分析)	次年度以降の課題や改善内容	児童虐待対応体制強化事業	予算 18,614		
														子家・子ども総合センター子育て支援課			
														児童虐待対応体制強化事業	決算 2,845		
														児童虐待防止医療ネットワーク事業	予算 4,000		
														子家・子育て支援課			
														児童虐待防止医療ネットワーク事業	決算 2,192		
														児童虐待防止医療ネットワーク事業	予算 4,737		